授業者　野村　彩夏　T2,小林　直也　T3,舘野　翔

６年１組 社会科　山中学級　授業日　７月７日（水）

「わたしたちのくらしと政治」

支援の工夫

・環境構成の工夫

・板書、ワークシート

・グループ編成の仕方

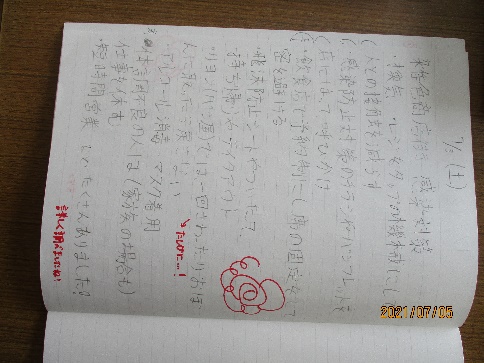
目指す児童に迫るための手立て

❶学びに応じた支援の工夫

・グループ発表では、一人一人が表現およびすべての発表を聞いて質問等の反応ができるように聞く時の視点が示されているワークシートを活用する。

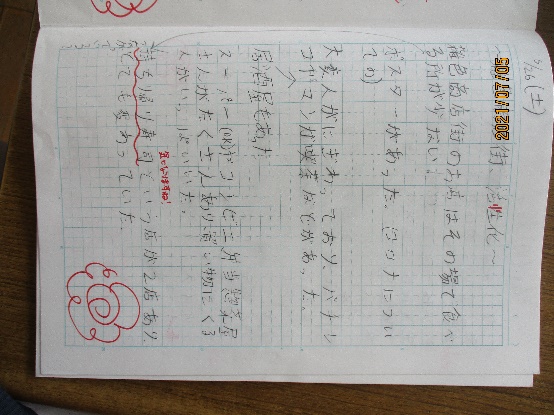
➋興味関心をもたせる工夫

・雑色のまちという児童にとって身近な場所を話題とすることで、関心をもたせやすく、知りたいことをすぐに調べに行くことができるようにする。



調べ学習の様子

児童の自主学習



雑色のまちと政治との関わりに

ついて、お家の人に聞いたり、

実際にお店に行ったりして情報収集しました！



発表をまとめたり、調べたりするのに

便利なタブレット。

共有機能を使って、協力してスライドを

つくっています。



本時の様子

発表グループ、質問グループと分かれて、役割を交代しながら

発表の練習を行いました。内容面でアドバイスをし合うことで

自分達の発表にさらに生かしたいことを見付けることができました。

成果と課題

雑色のまちをテーマにしたので、児童が自分たちでお店へ行ってインタビューをしたりお家の人に聞いたりと主体的に活動ができたが、調べるテーマが似ているグループが出たり、政治とのかかわりが見出しにくい内容があったりした。

内容を考える段階で、教師が視点を与えてポイントを絞ること、グループで児童が学習を進めていくうちに授業のねらいからずれそうなときに軌道修正することを今後意識していきたい。